

2024年10月7日一部改訂

2025年度（令和7年度）

（4月開講）

金沢大学附属病院

看護師特定行為研修

募集要項



金沢大学附属病院
KANAZAWA UNIVERSITY HOSPITAL

I. 看護師特定行為研修の概要

1. 特定行為研修の理念

本研修は、当院の基本理念に基づき、最高の医療を提供できる人間性ゆたかな優れた医療人の育成を目指すとともに、看護部の理念である「患者を尊重した質の高い看護の提供」「看護の質向上のための学習」「ホスピタリティの探究」が実践できる看護師を育成する。また、チーム医療の中核となる看護師が、患者や医師その他の医療スタッフから期待される役割を十分に担い、高度な臨床実践能力を発揮し、実践と振り返りを繰り返しながら自己研鑽を継続する基盤を構築する。

2. 特定行為研修の目的

特定行為を行う看護師として、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識・技術・態度を身につける。

3. 特定行為研修の目標

- 1) 医療現場において、疾患や病態の変化を包括的にアセスメントする基本的な能力を身につける。
- 2) 医療現場において、特定行為を安全に行うための知識・技術及び態度の基礎的な実践能力を身につける。
- 3) チーム医療における多職種と、効果的に協働する能力を身につける。
- 4) 医学的視点と看護学的視点を統合させた看護展開を標準化する能力を養う。

4. 開講する特定行為研修コース（領域別パッケージ、区分別科目）と定員

1) 領域別パッケージ

- | | |
|------------|--------|
| ① 術中麻酔管理領域 | 定員 2 名 |
| ② 救急領域 | 定員 2 名 |
| ③ 集中治療領域 | 定員 4 名 |

2) 区分別科目（領域パッケージを修了した者に限る。）

- | | |
|-------------------------------|--------|
| ① 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 定員 2 名 |
| ② 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 定員 2 名 |
| ③ 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | 定員 2 名 |
| ④ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 | 定員 2 名 |
| ⑤ 動脈血液ガス分析関連 | 定員 2 名 |
| ⑥ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 定員 2 名 |
| ⑦ 術後疼痛管理関連 | 定員 2 名 |
| ⑧ 循環動態に係る薬剤投与関連 | 定員 2 名 |

1) 領域別パッケージ

領域	特定行為区分	特定行為
① 術 中 麻 酔 管 理 領 域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸器からの離脱
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
② 救 急 領 域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
	動脈血液ガス分析関連	人工呼吸器からの離脱
		直接動脈穿刺法による採血
橈骨動脈ラインの確保		
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	
③ 集 中 治 療 領 域	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱
	循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去
	動脈血液ガス分析関連	橈骨動脈ラインの確保
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	
	持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	

2) 区分別科目

	特定行為区分	特定行為
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
②	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
		人工呼吸器からの離脱
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整
		人工呼吸器からの離脱
③	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
④	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去
⑤	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
		橈骨動脈ラインの確保
⑥	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
		脱水症状に対する輸液による補正
⑦	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
⑧	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整

5. 研修コースの選択

- ・領域別パッケージのうち、いずれか1つを選択することができる。
- ・領域別パッケージと区分別科目を同時に受講することはできない。
- ・領域別パッケージを修了している者に限り、区分別科目を選択することができる。
- ・区分別科目を受講する場合、一度の研修で選択できる区分別科目の数に上限はない。

6. 研修スケジュール

毎年原則4月1日～翌年3月31日（12か月間）

日程	内容
4月上旬	入講式、オリエンテーション
4月～8月（5か月間）	共通科目（eラーニング、演習・実習）※1
9月～11月（3か月間）	区分別科目（eラーニング、演習・実習）
12月～3月（4か月間）	臨地実習
3月下旬	修了判定、修了式

※1. 既に共通科目を履修している場合は、申請により履修免除。

7. 研修内容と時間数

- ・研修はすべての特定行為区分に共通する「共通科目」と、特定行為区分ごとに異なる「区分別科目」に分かれており、講義、演習及び実習を行う。
- ・講義は、eラーニングによる自己学習で実施する。
- ・共通科目の演習及び実習は、集合研修で実施する。
- ・区分別科目の演習及び実技試験（OSCE）は集合研修で行う。

1) 共通科目

科目名	時間数						評価方法
	講義	演習	実習	評価	計	合計	
臨床病態生理学	29	2		1	32	253	筆記試験
臨床推論	31	3	10	1	45		筆記試験、観察評価
フィジカルアセスメント	29	2	13	1	45		筆記試験、観察評価
臨床薬理学	41.5	3		1	45.5		筆記試験
疾病・臨床病態概論(主要疾患)	30			0.5	30.5		筆記試験
疾病・臨床病態概論(状況)	3.5	6		0.5	10		筆記試験
医療安全学・特定行為実践	18	15	11	1	45		筆記試験、観察評価

2) 区分別科目

特定行為に共通して学ぶべき事項 特定行為の名称	時間数			症例数	評価方法		
	講義	演習	計		筆記	実技	観察評価
呼吸器（気道確保に係るもの）関連の基礎知識	5		5	/	○		
経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5		5	5	○	○	○
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連の基礎知識	6		6	/	○		
侵襲的陽圧換気の設定の変更	4.5	1.5	6	5	○		○
非侵襲的陽圧換気の設定の変更	4.5	1.5	6	5	○		○
人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	4.5	1.5	6	5	○		○
人工呼吸器からの離脱	4.5	1.5	6	5	○		○
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連の基礎知識	5		5	/	○		
気管カニューレの交換	5		5	5	○	○	○
循環器関連の基礎知識	4.5		4.5	/	○		
一時的ペースメーカーの操作及び管理	4	1.5	5.5	5	○		○
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連の基礎知識	3		3	/	○		
中心静脈カテーテルの抜去	4.5		4.5	5	○		○

特定行為に共通して学ぶべき事項	時間数			症例数	評価方法		
	講義	演習	計		筆記	実技	観察評価
動脈血液ガス分析関連の基礎知識	5		5	/	○		
直接動脈穿刺法による採血	5.5		5.5	5	○	○	○
橈骨動脈ラインの確保	5.5		5.5	5	○	○	○
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	6		6	/	○		
持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	4.5	1.5	6	5	○		○
脱水症状に対する輸液による補正	4	1.5	5.5	5	○		○
術後疼痛管理関連の基礎知識	4		4	/	○		
硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	3	1.5	4.5	5	○		○
循環動態に係る薬剤投与関連の基礎知識	8		8	/	○		
持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	3	1.5	4.5	5	○		○
持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	3.5	1.5	5	5	○		○
持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	3.5	1.5	5	5	○		○
持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	3.5	1.5	5	5	○		○
持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	3	1.5	4.5	5	○		○
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連の基礎知識	8.5		8.5	/	○		
抗けいれん剤の臨時的投与	5	1.5	6.5	5	○		○

8. 修了要件

次の要件をすべて満たし、本院の特定行為研修管理委員会において修了が認められる必要があります。

- 1) 共通科目をすべて履修し、筆記試験及び実習の観察評価において合格すること
- 2) 受講を許可された区分別科目をすべて履修し、筆記試験、実技試験及び実習の観察評価において合格すること

なお、修了者には修了証を交付し、修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

II. 出願方法

1. 出願資格

次に定める要件をすべて満たしていること

- 1) 日本国内における看護師免許を有していること
- 2) 看護師免許取得後、5年以上程度の実務経験を有していること
- 3) 所属する施設の長又は所属の長の推薦を有していること
- 4) 所属する施設において臨地実習が行えること※
- 5) 実習までに、日本看護協会看護師賠償責任保険等の賠償保険に加入すること
- 6) 特定行為研修受講後、看護の発展と社会貢献に努める意欲があること

※臨地実習は、原則所属施設（協力施設）で行います。研修修了後も特定行為を実践できる体制づくりが重要と考えるため、指導者による継続した指導と安全に活動する施設基盤を実習中から構築します。研修生の所属施設は協力施設としての手続きが必要になります。

2. 出願手続き

1) 募集要項請求方法

金沢大学附属病院ホームページ「金沢大学附属病院看護師特定行為研修」から、必要書類をダウンロードしてください。

ホームページ

https://web.hosp.kanazawau.ac.jp/oshirase/tokuteikenshu_info2024.html

2) 出願提出書類 ※提出された書類は返却いたしません。

- (1) 志願書（様式 1）
- (2) 履歴書（様式 2）
- (3) 推薦書（様式 3）
- (4) 志願理由書（様式 4）
- (5) 看護師免許証の写し（1枚。A4サイズに縮小したもの。）
- (6) 履修免除申請書（様式 5）※既に修了した科目や特定行為の履修免除を申請する場合
・「特定行為研修修了証」（写し1枚）を添付すること。
・なお、現在、受講中で修了見込みの場合は、「修了見込み証明書」を添付すること。ただし、本院で受講中の場合は添付は不要。
・本院の特定行為研修管理委員会において履修免除が認められた場合は、履修時間数の全部または一部を免除する。

3) 受付期間 2024年10月18日（金）～2024年11月15日（金）必着

4) 書類の提出先

上記の書類を封入し、封筒の表面に「特定行為研修 書類在中」と朱書きの上、次の提出先に「簡易書留」にて郵送または直接持参してください。

〒920-8641 石川県金沢市宝町 13-1

金沢大学附属病院 看護部管理室 看護師特定行為研修担当

3. 審査料

- 1) 審査料 11,000 円 (消費税込)
- 2) 納付方法 受付期間終了後、出願者に振込依頼書を郵送いたします。
2024 年 12 月 5 日 (木) までに振込依頼書により指定口座に振り込んでください。
※振込手数料は出願者をご負担ください。
※納付された審査料は、原則として返還いたしません。

4. 選考方法

書類審査及び面接

- ※面接日は別途、メールにてお知らせいたします
- ※審査結果通知書は 2025 年 1 月下旬までにご本人様宛に郵送いたします。
- ※電話、FAX、メール等による可否のお問合せの対応はいたしません。

Ⅲ. 受講手続き

1. 受講手続き

受講にあたり必要な書類は、審査結果通知書と一緒に郵送いたします。

2. 納付金

- 1) 共通科目の受講料 440,000 円 (消費税込)
- 2) 希望する特定行為の受講料 (以下参照)

	特定行為	受講料(税込)
領域別 パッケージ	術中麻酔管理領域	286,000 円
	救急領域	313,500 円
	集中治療領域	341,000 円
区分別科目	呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連	49,500 円
	呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	121,000 円
	呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連	49,500 円
	栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連	38,500 円
	動脈血液ガス分析関連	88,000 円
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	55,000 円
	術後疼痛管理関連	27,500 円
	循環動態に係る薬剤投与関連	137,500 円

※納付金は一括です。振込手数料は受講者をご負担ください。

※納付された受講料は、原則として返還いたしません。

※受講料には、教材使用料および演習材料費が含まれます。

※履修免除が認められた場合は、共通科目の受講料は免除となります。

なお、領域別パッケージ及び区分別科目は、履修免除による受講料の免除は行いません。

IV. その他

1. 個人情報の取り扱い

本院では、本学の個人情報の取扱いに関する規則等に基づいて適切に取り扱います。出願及び受講手続きにあたり提供いただいた個人情報は、本院の看護師特定行為研修及びこれに付随する事項のみに使用させていただきます。なお、取得した個人情報は、法律に定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

2. お問い合わせ

金沢大学附属病院 看護師特定行為研修 担当：キャリア開発センター 竹内弘美

TEL : 076-265-2000 内線 (3549)

Email : tokutei-kindai@med.kanazawa-u.ac.jp